



☆ 温熱療法（ハイパーサーミア）の紹介 ☆

当院に最新の高周波ハイパーサーミア装置 サーモトロンRF8を導入しました。

「がん組織が熱に弱い」という特性を利用し、病巣を的確に加温する治療法で副作用は殆どありません。温熱療法は高周波電磁波を用いてがん病巣を42℃以上を目標に加温し治療を行います。

他の治療（放射線治療・薬物療法・手術など）との併用で相乗効果があり、治療効果の増強が期待できます。



☆温熱療法とは？

正常組織は毛細血管がすみずみまではりめぐらされ、加温によって毛細血管が拡張し、血流が増加し熱の放散が起るため、組織の温度が上がらない仕組みになっています。それに対してがん組織は、血管は急速に新生したため、毛細血管が拡張せず、加温によって熱が上がりやすくなっています。その結果、正常細胞にはほとんど損傷がみられないのに対して、がん細胞は大きなダメージを受けます。

☆温熱療法の特徴

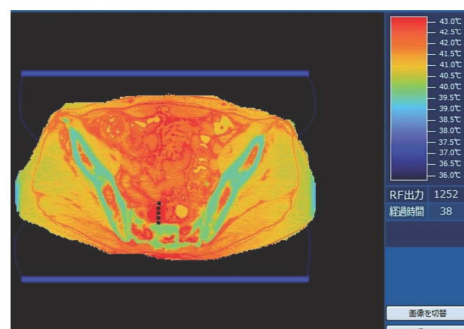
- ① がん組織が熱に弱いことを利用して治療します
- ② 加温により免疫が活性します
- ③ がん組織への薬剤の取り込みを良くします
- ④ 放射線治療の効果を増強させます
- ⑤ 副作用がほとんどありません



治療セッティング風景



治療風景



腹部の加温イメージ画像

☆治療ができない方

- ① ペースメーカーや加温部位にステントなど金属が入っている
- ② 全身状態の悪い方
- ③ 心臓、腎臓の機能が悪い方
- ④ 適応外の病気（脳や眼球と血液のがん）の方
- ⑤ 意思の疎通が困難な方
- ⑥ 妊娠中の方
- ⑦ 栄養状態が極端に悪い方



副院長
沢井 博純 医師

☆こんにちは、沢井です。 ☆ 担当者からの一言 ☆
私は外科医として主に手術や化学療法を担当していますが、昨年10月に当院で温熱療法が開始となり、当初から担当しております。まだまだ限られた枠での治療ですが、2月からは本格的に稼働します。当院では手術治療や化学療法、放射線治療に陽子線治療などを駆使してがん治療を行っていますが、さらに温熱療法を追加し、がんの集学的治療をますます充実いたしました。我々スタッフ一同、患者様の診療に全力を尽くして参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

温熱療法STAFF

医師 1名
診療放射線技師 3名
看護師 3名



放射線部ウェブサイトは
こちらのQRコードから



www.meiyokai.or.jp/narita/rad

CT・MRI検査など緊急の場合は個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

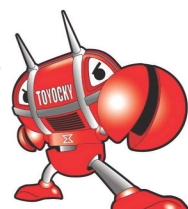
0532-31-2528

FAX 0532-31-2279

8:30～17:30 (月～金)

8:30～12:30 (土)

受付時間



©toyohashi city.toyohcky